

生徒向け

九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和3年5月 第2号

学校図書館支援員 蛭田康寿子



入学、進級してから約1か月が経ちました。新しい生活にも皆さん慣れてきたでしょうか。

にじゅうしせつき
二十四節気(1年を24等分し、約15日ごとの節気に分けた旧暦)では5月5日頃に「立夏」^{りっか}

を迎え、暦の上では夏となります。新緑が目まぶしく、1年でもっともさわやかな季節です。花の種類も最も多い時期なので、美しい木々や花々をながめ、心に栄養を与えつつ、梅雨前のおだやかな季節を過ごしてください。



九中図書館 利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日

開館時間 昼休み 13:00~13:20

放課後 学活終了後~16:20

貸出冊数 2冊まで 貸出期間 2週間まで

支援員在室曜日は

月・火・木・金

在室時間は

11:30~16:30

※行事や授業によって

変更になることがあります



今月のオススメ本

『スズメの謎身近な野鳥が減っている!?』
三上修 著/誠文堂新光社 【488ミ】

おそらく日本人にとって一番身近な野鳥、スズメ。皆さんはスズメについてどれだけ知っていますか？

スズメの数が減ってるかも、と感じた著者は、ではどうやって個体数を確認するか、スズメの生態とはどのようなものか、一つ一つ科学的アプローチを行っていきます。

全て読み終えたあと、自らスズメについて調べたくなくなってしまいます。



読書感想文コンクールの

課題図書を読もう!!

第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が発表されました。このコンクールは、「読書の習慣をつける」「読書の感動を文章にし、表現する力を養う」などの目的で行われているものです。

本を読んだ時どんなに強く心を動かされても、時間が経てばその記憶は薄れてしまいます。ちゃんとした感想文でなくとも、ちょっとしたメモ書きを残しておけば、自分の感動の記録となり、あとで読み返すことにより感動した自分を思い起こすことも出来ます。

皆さんもこの機会に「感動の記録」を残してみませんか？

今年の課題図書



『with you(ウイズ・ユー)』
濱野京子著/くもん出版
【913ハ】
ヤングケアラー朱音と中学生悠人の切ない物語。



『アーニャは、きっと来る』
マイケル・モーパゴ著/評論社
【93モ】
羊飼いのジョーはユダヤ人の亡命を助けられるか？

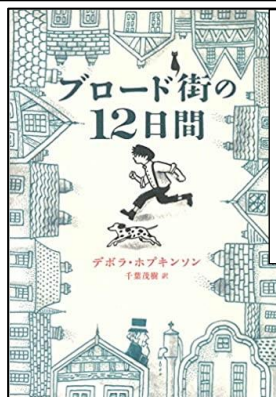


『牧野富太郎: 日本植物学の父』清水洋美著/汐文社
【289シ】
数多くの新種を発見した牧野富太郎の人生記です。

過去の課題図書



『チャーシューの月』
村中李依著/小峰書店
【913ム】
児童養護施設の子供たちの日々が語られています。



『ブロード街の12日間』
デボラ・ホプキンソン著
あすなろ書房 【93ホ】
19世紀ロンドンを襲った感染症からの脱出物語です。



『ホタルの光は、なぜだらけ』大場裕一著
くもん出版 【468オ】
ホタルやその他の光る身近な生物について調べていく、興味深い本です。